

株式会社プラネット

2007年7月期中間決算説明会

株式会社プラネット

代表取締役社長 玉生弘昌

2007年7月期

中間期 決算概要



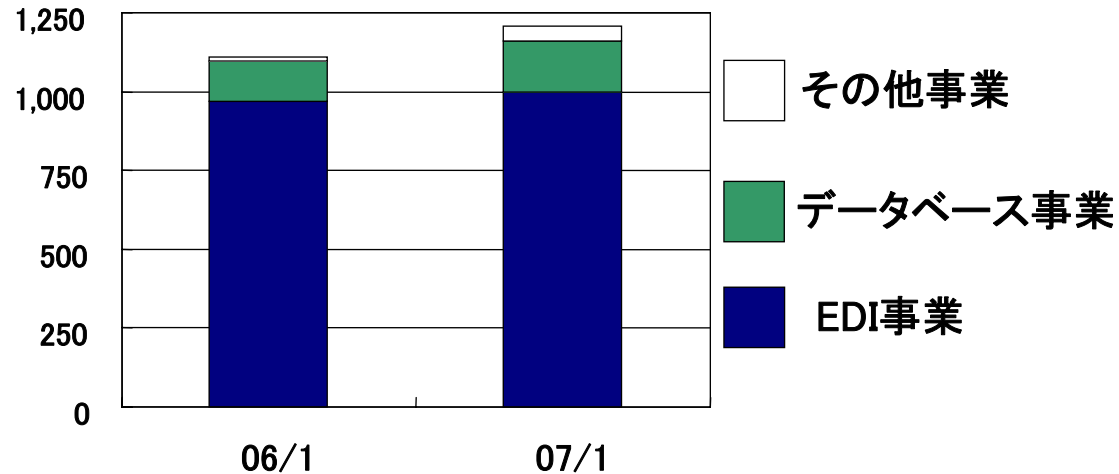
当中間期の業績ハイライト① 2007年7月期中間期

06/1 中間期実績			07/1 中間期実績			
	(百万円)	率(%)		(百万円)	率(%)	前年同期比
売上高	1,141		売上高	1,208		+5.8%
売上総利益	583	51.1	売上総利益	621	51.4	+6.4%
営業利益	221	19.4	営業利益	219	18.2	-0.7%
経常利益	226	19.8	経常利益	227	18.8	+0.7%
中間純利益	131	11.5	中間純利益	148	12.3	+13.4%
1株当たり中間純利益	7,925円59銭		1株当たり中間純利益	8,987円10銭		
1株当たり配当金	2,500円		1株当たり配当金	2,500円		



当中間期の業績ハイライト② 2007年7月期中間期

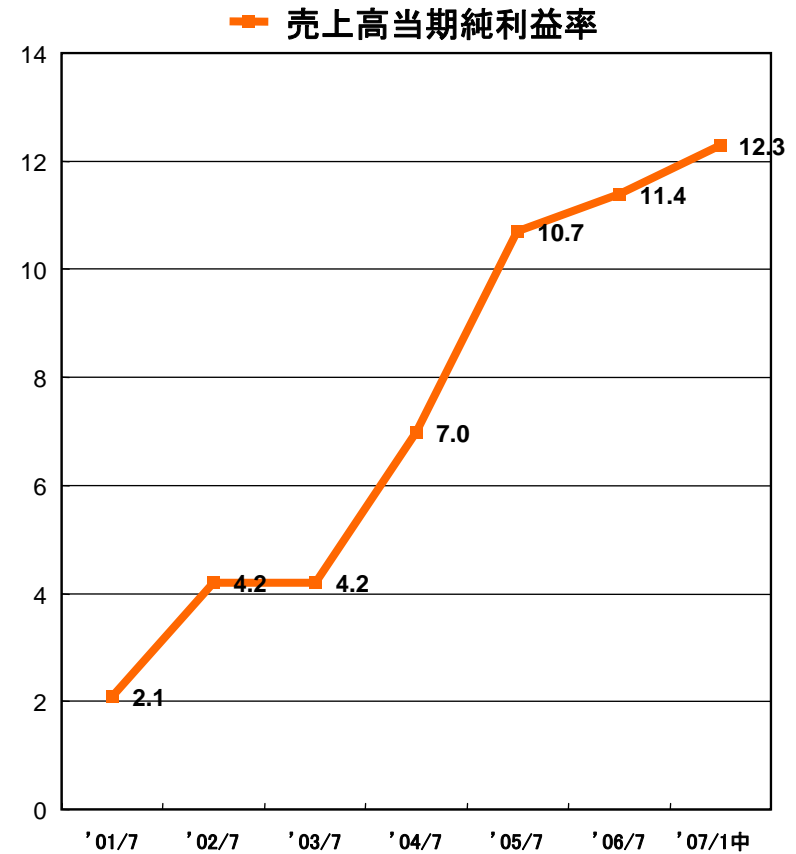
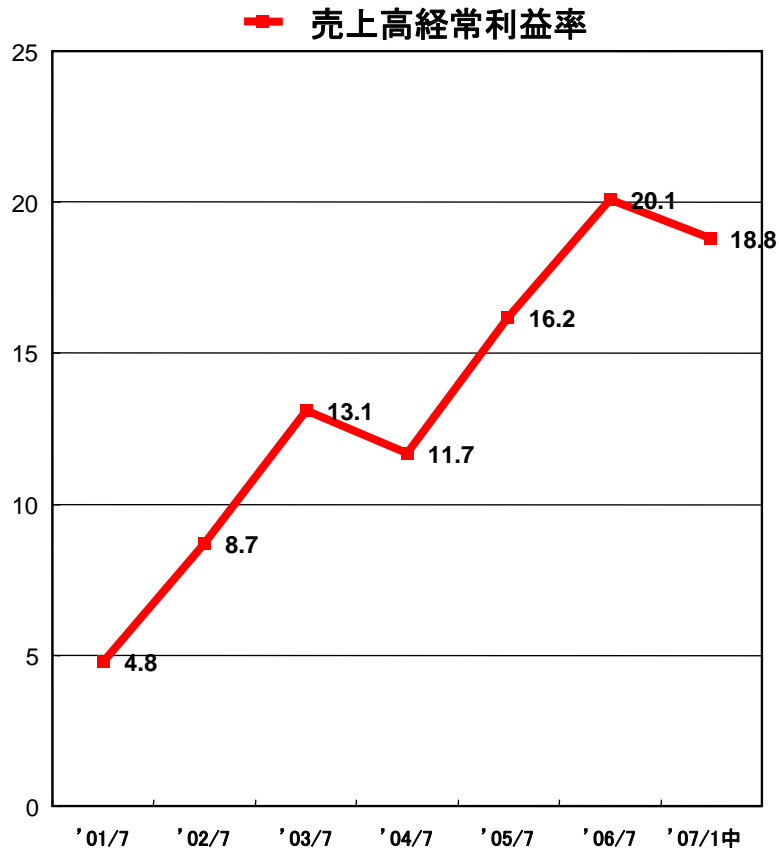
セグメント別売上高



06/1 中間期実績			07/1 中間期実績			
	(百万円)	構成比(%)		(百万円)	構成比(%)	前年同期比
売上高	1,141	100.0	売上高	1,208	100.0	+5.8%
EDI事業	970	85.0	EDI事業	997	82.6	+2.8%
データベース事業	158	13.9	データベース事業	164	13.6	+3.6%
その他事業	12	1.1	その他事業	46	3.8	+262.6%



当中間期の業績ハイライト③ 2007年7月期中間期

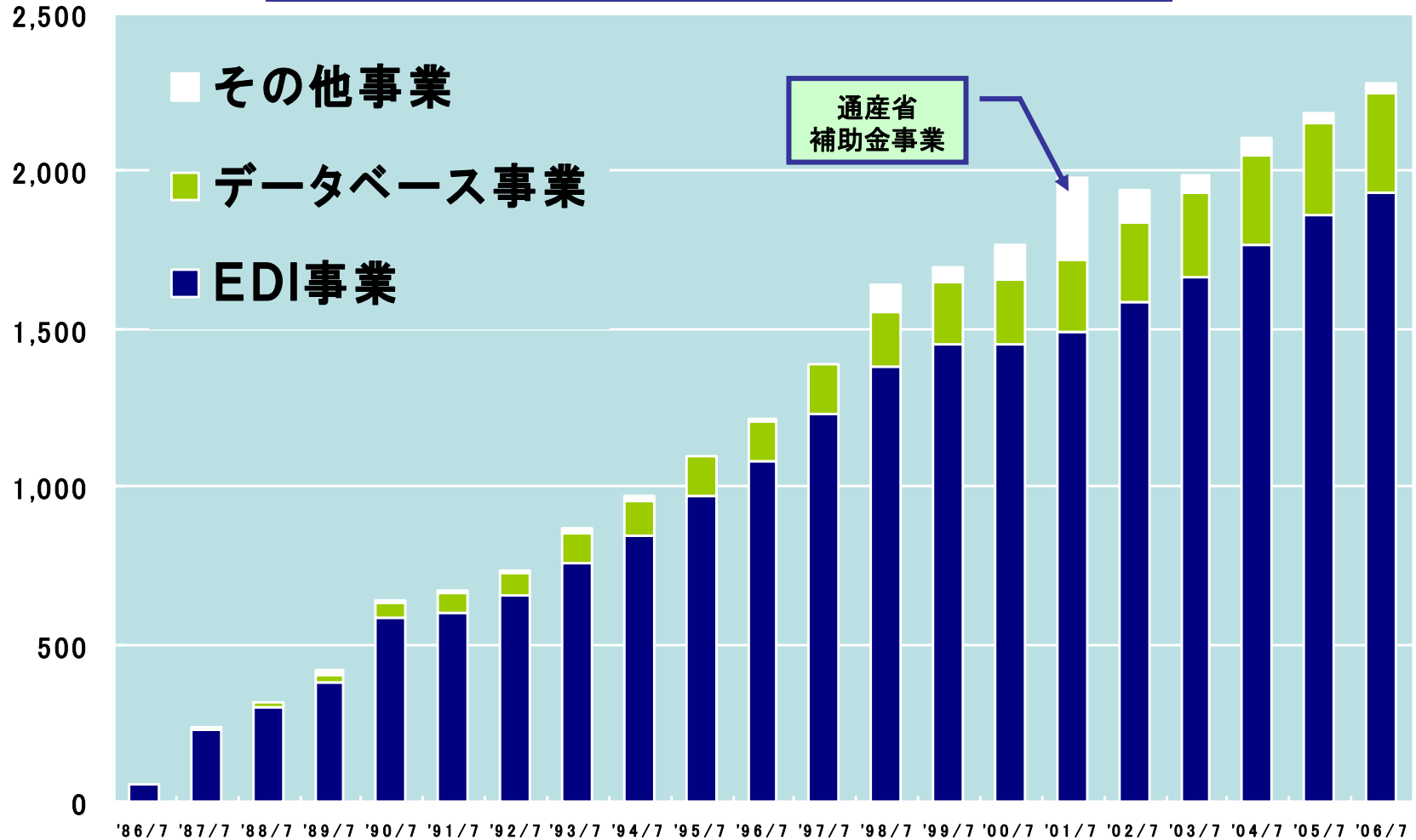




参考資料

事業別売上高推移

(百万円)





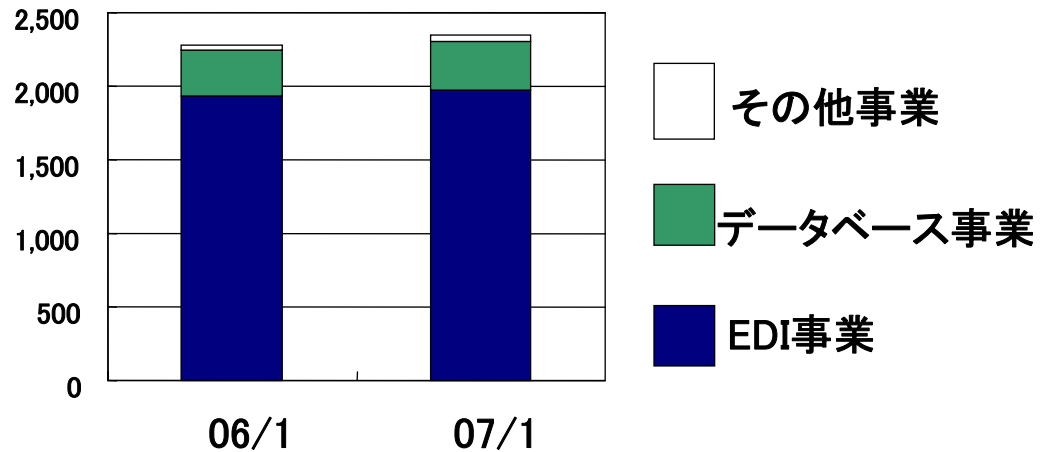
当期通期の業績予想①

06/7 実績			07/7 予想			
	(百万円)	率(%)		(百万円)	率(%)	前年同期比
売上高	2,281	100.0	売上高	2,350	100.0	+3.0%
売上総利益	1,165	51.1	売上総利益	1,190	50.6	+2.1%
営業利益	446	19.6	営業利益	375	16.0	-16.0%
経常利益	458	20.1	経常利益	370	15.7	- 19.4%
純利益	260	11.4	純利益	230	9.8	- 11.8%
設備投資額	243.6		設備投資額	244.8		
減価償却費	137.3		減価償却費	159.5		
1株当たり当期純利益	15,728円78銭		1株当たり当期純利益	13,873円81銭		
1株当たり配当金	5,000円		1株当たり配当金	5,000円		



当期通期の業績予想②

セグメント別売上



06/7実績			07/7予想			
	(百万円)	構成比(%)		(百万円)	構成比(%)	前年同期比
売上高	2,281	100.0	売上高	2,350	100.0	+3.0%
EDI事業	1,933	84.8	EDI事業	1,976	84.1	+2.2%
データベース事業	317	13.9	データベース事業	331	14.1	+4.4%
その他事業	29	1.3	その他事業	41	1.8	+41.3%



07年7月期の業績予想③ー1

事業全体

■「増収減益」の見通し(純利益が約3千万円減)

- 次世代EDIとGDSへの**先行投資**
- 研究開発費・広告宣伝費・人件費の増加



07年7月期の業績予想③ー2

先行投資

- 次世代EDI普及のために
プラネット社員が委員として参加している
「経済産業省」のプロジェクト
 - 流通サプライチェーン全体最適化推進事業 「SCM企画委員会」
 - 流通サプライチェーン全体最適化推進事業 ビジネスモデルWG
 - 流通システム標準化事業 通信プロトコル・セキュリティの検討ー各WG
 - 流通システム標準普及推進委員会
 - 流通システム標準普及推進委員会 流通システム標準協議会検討WG

※ WG(ワーキング・グループ) = 作業部会



07年7月期の業績予想③ー3

先行投資

- 次世代EDI普及のために
プラネット社員が委員として参加している
標準普及組織「日本GCI推進協議会」のプロジェクト
運営委員会
日本GCI推進協議会GDS/WG 技術分科会
日本GCI推進協議会GDS/WG マスタ項目分科会
日本GCI推進協議会XML-EDI/WG および実装分科会
日本GCI推進協議会電子タグ/WG
流通コード研究会
流通コード研究会 GLN部会



07年7月期の業績予想③ー4

先行投資

次世代EDI普及のために、
経済産業省主導による
インターネットEDI、GDS実証実験への参画

小売

イオン(株)、(株)ダイエー、(株)平和堂、ユニー(株)

卸

〔実証準備検討企業〕

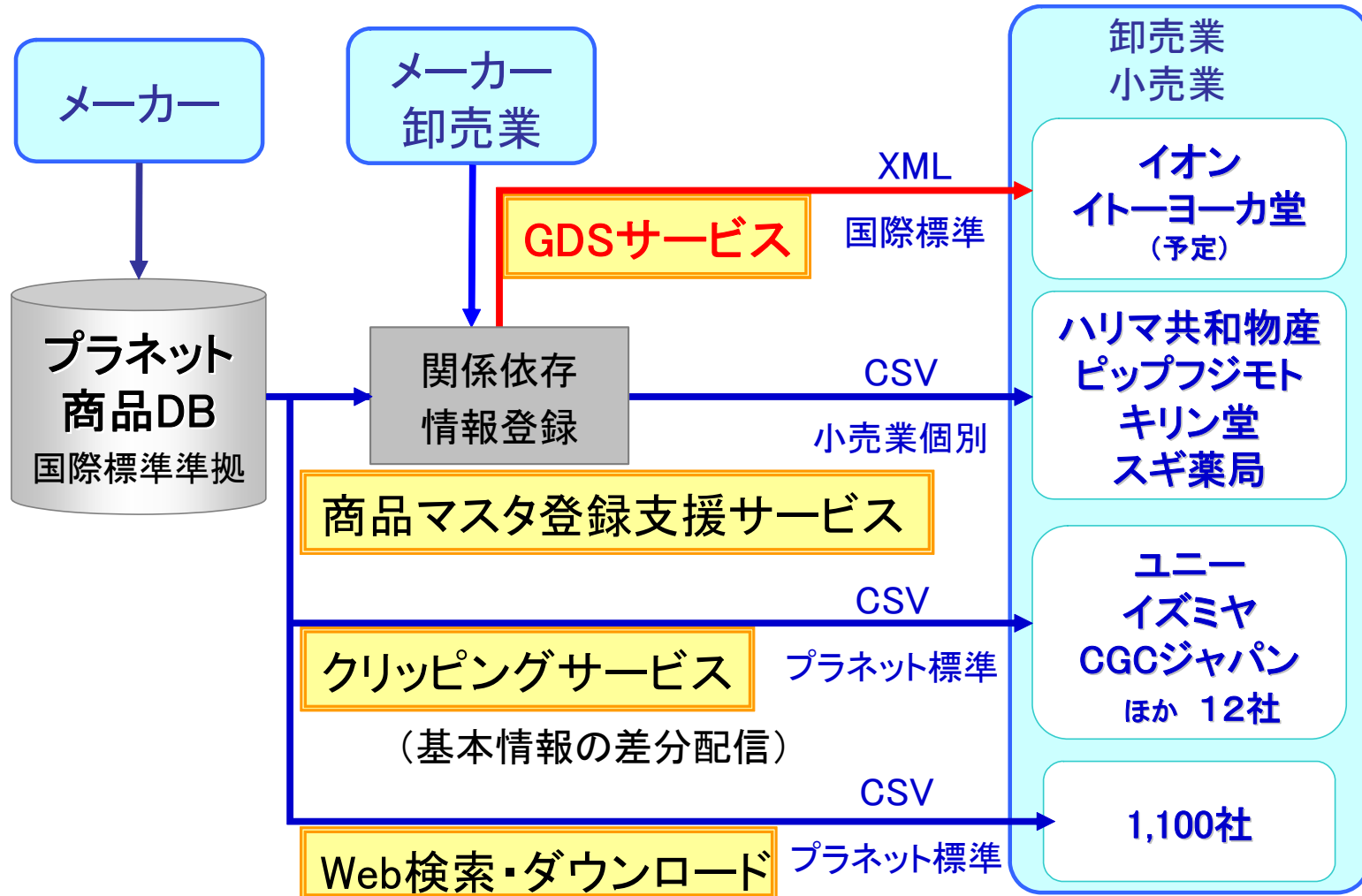
(株)あらた、伊藤忠食品(株)、エコトレーディング(株)、
花王販売(株)、国分(株)、(株)トーカン、(株)パルタック、
(株)山星屋、(株)菱食

資料1



資料1

GDSに対応したプラネットのサービス





重点施策

①利用率の拡大

- 既存サービスの深掘り

資料2



資料2

EDIサービスの概要

取引関連データ24種を

“複数” 対 “複数”

で交換

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 発注 (FAX変換も可能) | 11. 卸店間振替 |
| 2. 品切れ連絡 | 12. 卸店担当営業連絡 |
| 3. 仕入 | 13. 出荷予定 |
| 4. 返品予定 | 14. 発注確認 |
| 5. 請求照合 | 15. 商品活動 |
| 6. 請求鑑 | 16. 物品受領 |
| 7. 支払照合 | 17. 入荷検収 |
| 8. 販売 | 18. 仕入条件案内 |
| 9. 在庫 | |
| 10. 振替 | その他 6 データ種 |

月間で1億レコード通信
(おおよそ 1億伝票行数に相当)



重点施策

②隣接業種への横展開





重点施策

③縦展開

●一気通貫型ネットワークへ →

資料3

資料4

●経済産業省の実証実験に参画
フル装備EDI →

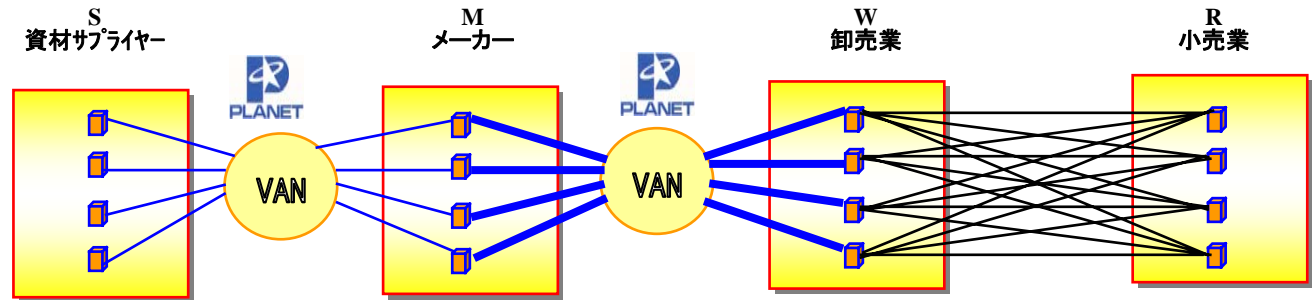
資料5



資料3 一気通貫型ネットワーク

現状

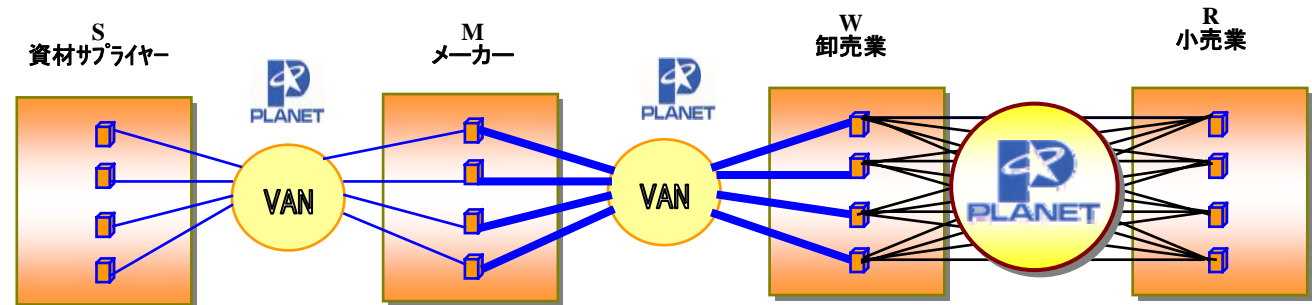
EOS
Electronic
Ordering
System



小売業は卸売業と1対複数企業間のデータ交換を開始。〈個別仕様の発注データのみ〉

一気通貫型

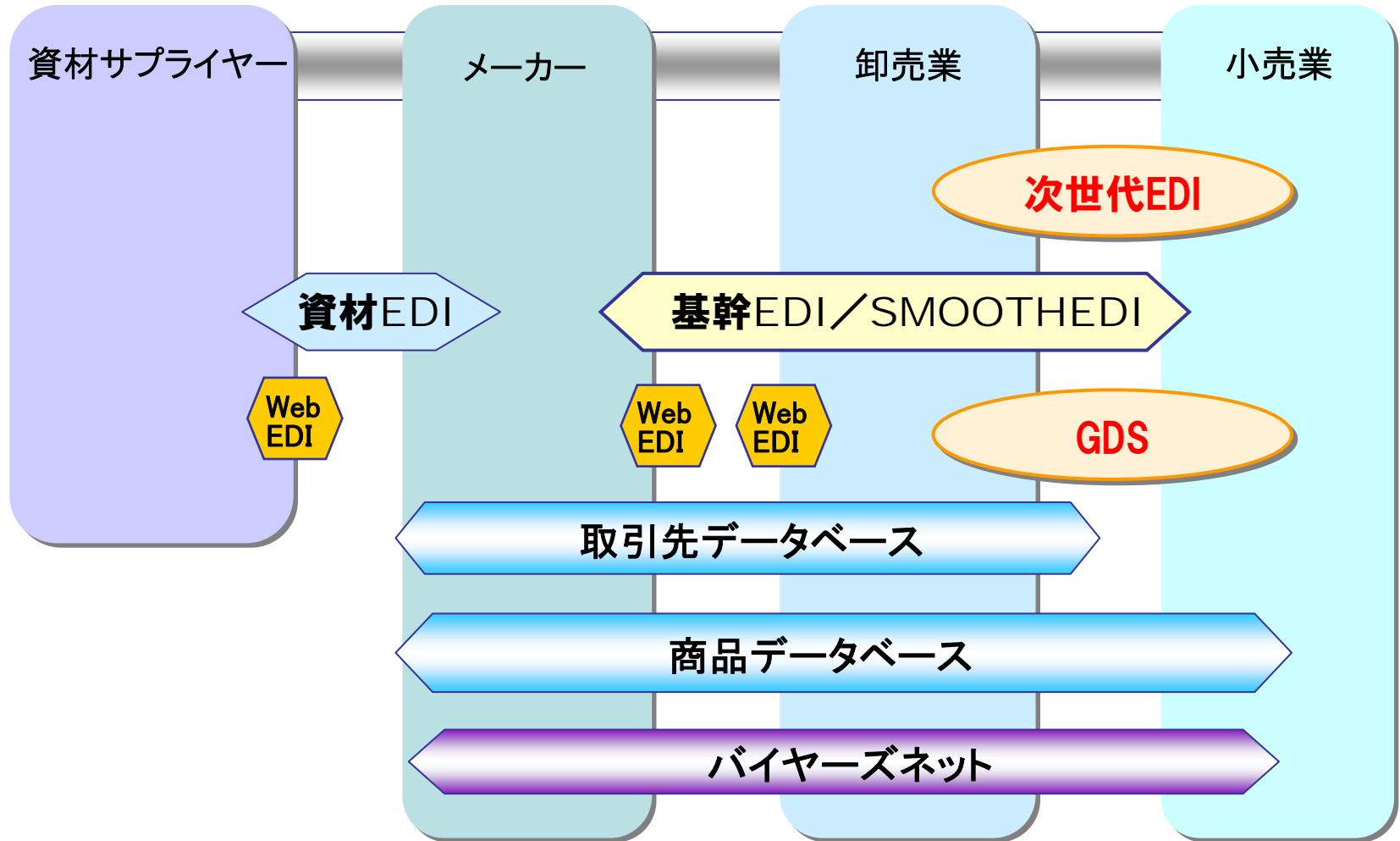
EDI
Electronic
Data
Interchange



メーカーは卸売業、資材サプライヤーと複数対複数企業間のデータ交換を開始。



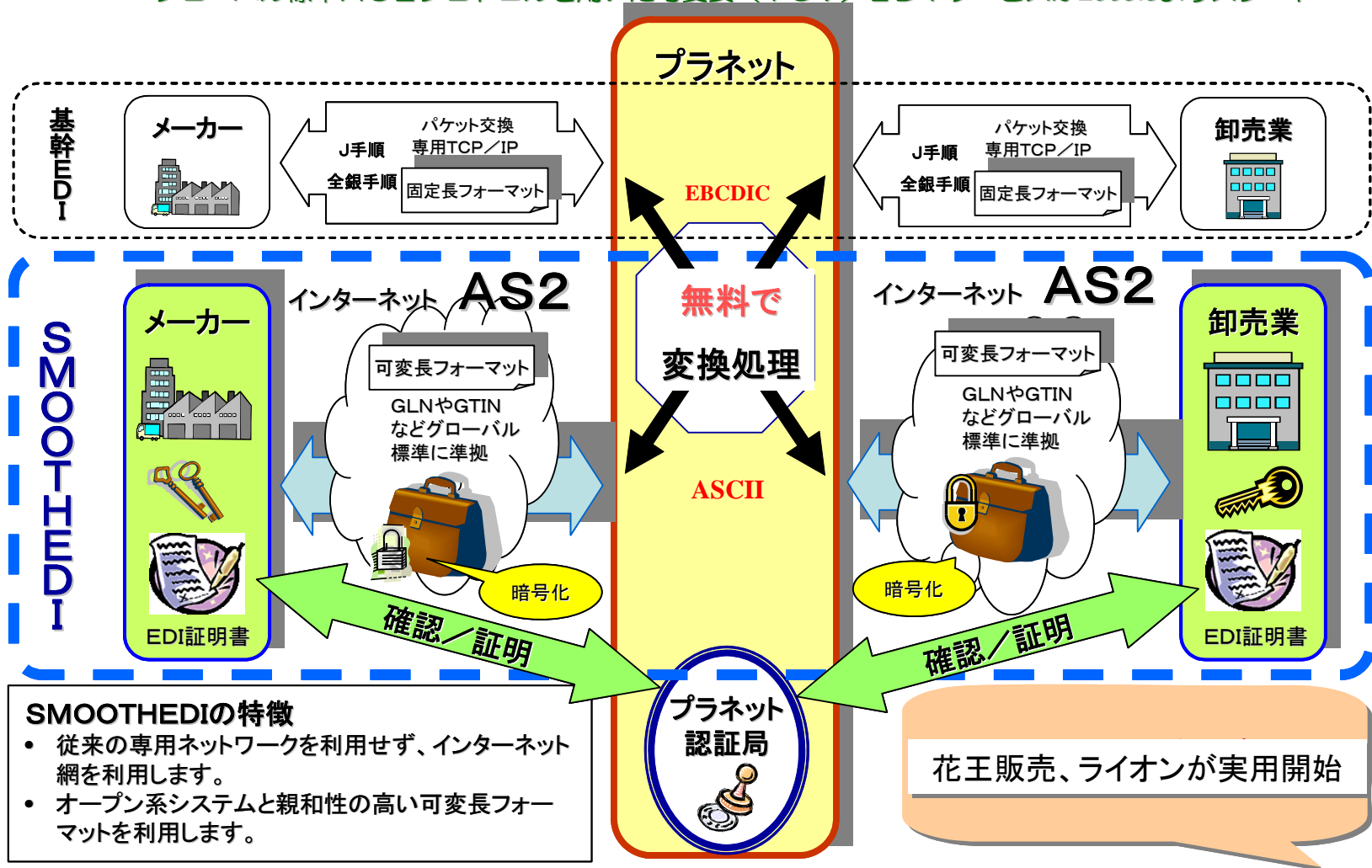
資料4 プラネットサービスの体系





資料5 SMOOTHEDI

グローバル標準AS2プロトコルを用いた可変長(TSV) EDIサービスが2005.8よりスタート



SMOOTHEDIの特徴

- 従来の専用ネットワークを利用せず、インターネット網を利用します。
- オープン系システムと親和性の高い可変長フォーマットを利用します。

花王販売、ライオンが実用開始



重点施策

④事務合理化ネットワークから “マーケティングネットワーク”になろう

●バイヤーズネット → 資料6

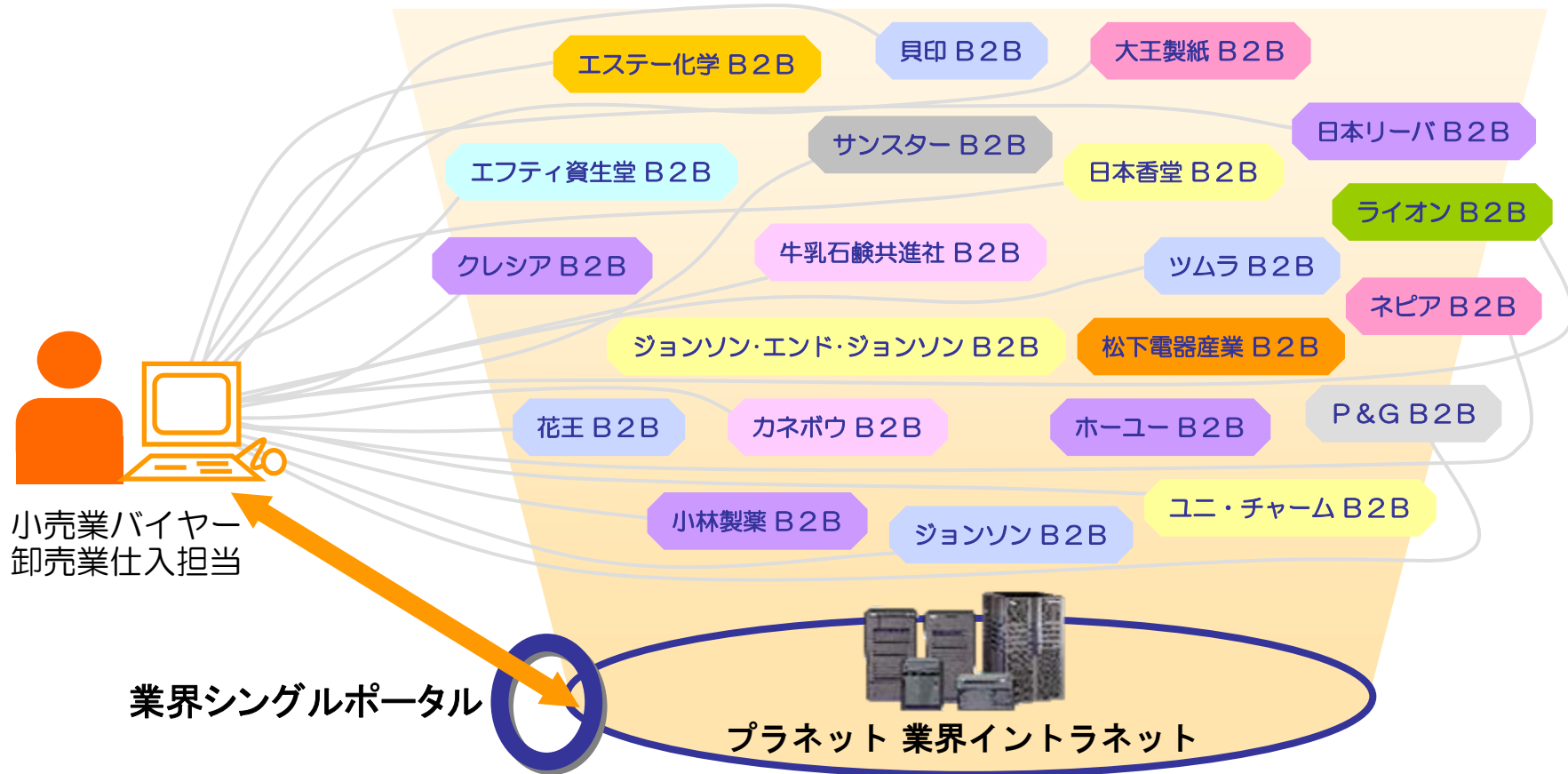
資料7

資料8



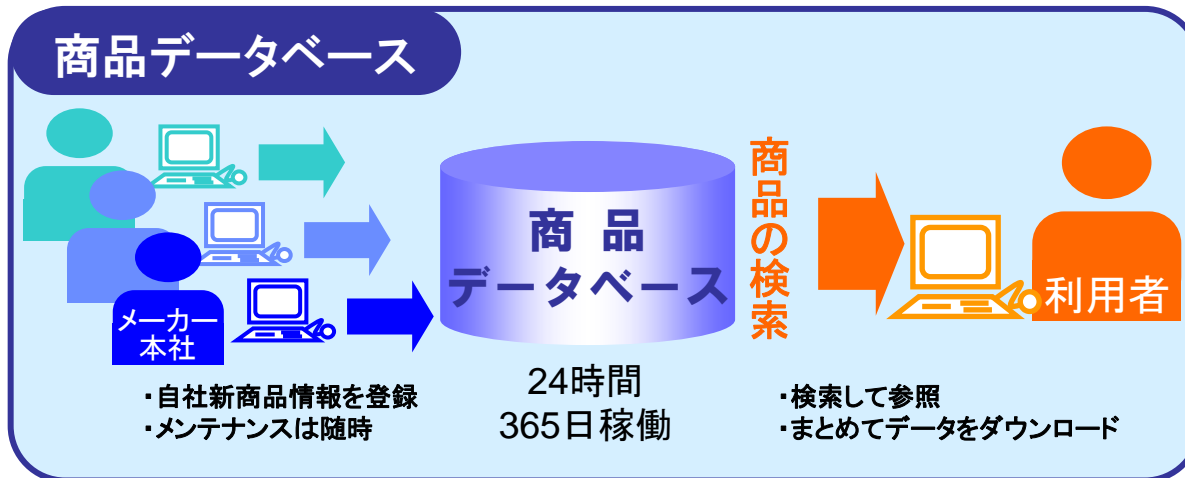
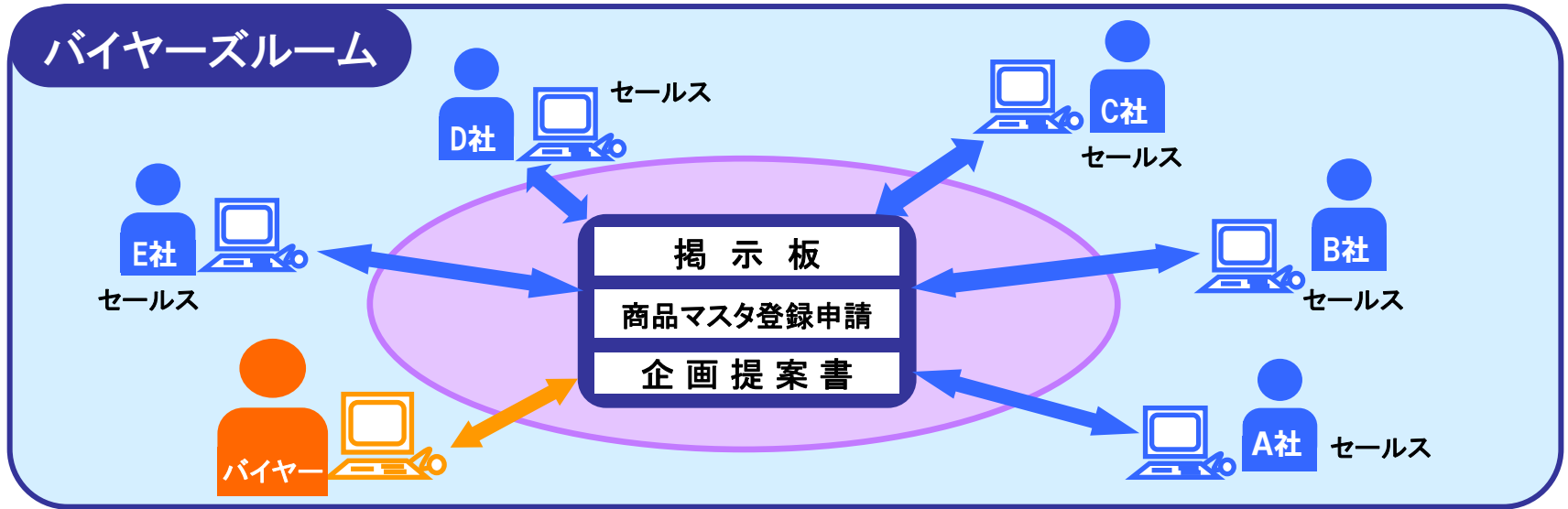
資料6 プラネットのバイヤーズネット

- メーカーが取引先へ提供するサイトが乱立し、煩雑なパスワード、アドレス管理により利用者が混乱する恐れ。
- メーカーのB2Bサイト群を統一し、ユーザー認証を一元管理。
⇒2001年4月テスト開始、2001年8月本番リリース。





資料7 バイヤーズネット



商品マスタ登録
支援サービス

販売レポート
サービス



資料8

商品データベース画像イメージ

商品上面

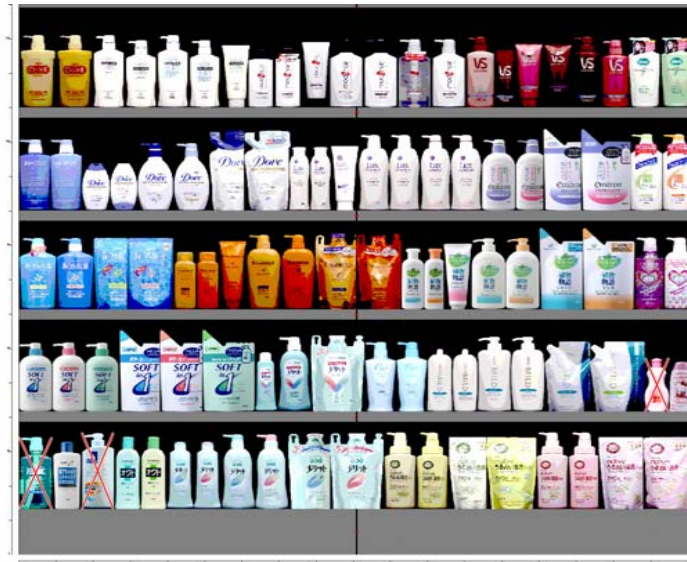


商品正面



商品側面

棚割画像





重点施策

④事務合理化ネットワークから “マーケティングネットワーク”になろう

- プラネットマーケティングセミナーを開催予定
『 プラネット・マーケティング・フォーラム 』
《 IT時代の新しいマーケティング手法を学ぶ 》

日程及び会場

<日程> 2007年7月5日(木)

<会場> 東京ステーション

カンファレンスセンター

(5月7日OPEN)

※東京駅日本橋口を出てすぐ左

2007年7月期

中長期戦略と展望



中長期的戦略①

インフラとしての責務を果たす

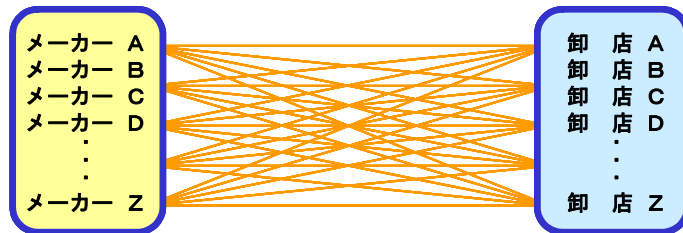
- プラネットは「業界特化型インフラ」を構築しています。業界の競争会社相互の機密を完全に守りながら、一つのネットワークに相乗りさせるノウハウを持っています。
- 日々通信されるトランザクションデータの通信の秘密は完全に守りながら、マスターデータ(商品データベース、事業所データベース)は、業界共通財産として、一括管理しています。

資料9



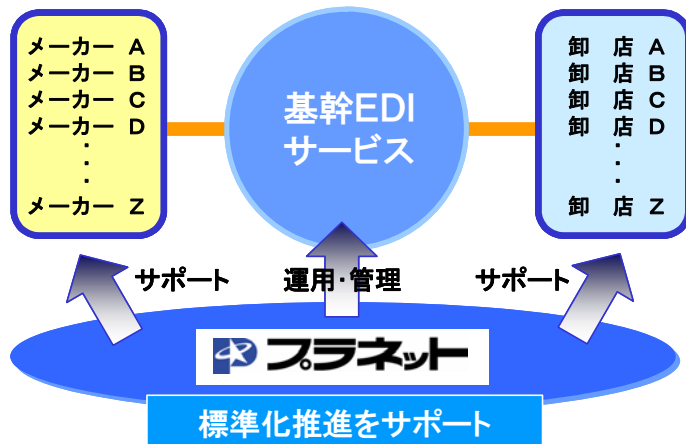
資料9 インフォメーション・オーガナイザー

■個別企業型プライベートネットワークの場合（1対複数）



各企業による 1 対 複数のネットワークが進むと
ネットワークの錯綜が起こる

■業界インフラ型オープンネットワークの場合（複数対複数）



インフォメーションオーガナイザーが
双方の通信ニーズを標準化することによって
複数 対 複数のオープンネットワークが実現する

**プラネットの役割・使命は、
流通における全体最適化に貢献すること**



中長期的戦略②

流通全体でのプラネットの認知度をさらに上げる

プラネットのプレゼンス向上のため

- 広告宣伝を強化
- 関連団体・ユーザー各社との連携・折衝を継続

資料10



資料10

プレゼンス向上策

「プラネット式IT起業で成功する方法」の主な内容



- [第1章] 創業前夜、アイデアをチャンスに変える
- [第2章] 会社設立、そして認知されるまで
- [第3章] 強いベンチャーになるための試練と決断
- [第4章] 上昇期、業界への貢献を目指して
- [第5章] 隆盛期、増えるユーザーと増える要望
- [第6章] 大きな失敗と、そして教訓
- [第7章] 上場、その意味と効果
- [第8章] 成熟期、インターネット時代に目指すもの
- [第9章] 提言、いまどう動けばいいのか

「EDIがわかる本」の主な内容

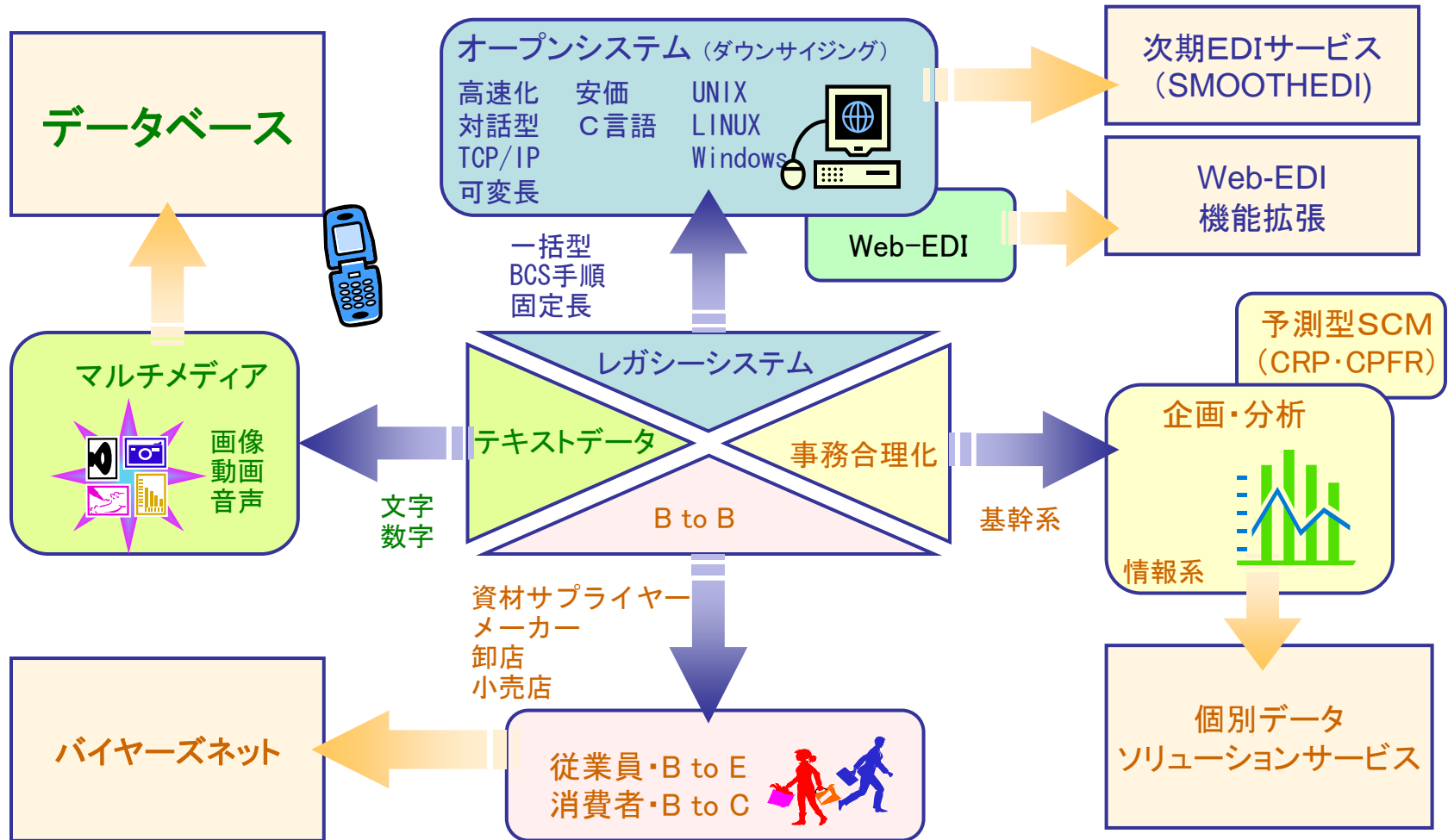


- ・ ED攻略（初級編）
EDIの役割、あなたの会社のEDIレベルを知ろう、データベースを活用した理想的標準EDIへ、EDIを実現しよう（業務編・IT環境編）、ほか
- ・ EDサービス紹介（活用編）
EDIを利用した業務フロー、各EDIデータ種概要、将来に向けたフル装備EDI、ほか



中長期的戦略③

プラネットサービスの発展性





お問合せ窓口

ご清聴ありがとうございました。

IR担当窓口

株式会社プラネット
経営企画室

TEL : 03-5444-0811

FAX : 03-5444-0831

e-mail : sc@planet-van.co.jp

URL : <http://www.planet-van.co.jp>

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

參考資料



参考資料①会社概要

日用品雑貨化粧品業界を中心に
一般消費財の流通ネットワークを支える
インフォメーション・オーガナイザー

企業名 : **株式会社プラネット**

会社設立 : 1985年8月1日

代表者 : 代表取締役社長 玉生 弘昌
(たまにゆう ひろまさ)

事業内容 : EDI(電子データ交換)基幹プラット
フォームの構築・提供・運用

純資産 : 16億1百万円

従業員数 : 35名 (2007年1月末現在)

「システムは共同で、競争は店頭で」

日用品雑貨化粧品業界の流通システム最適化のための業界共通のインフラ構築を目的として通信事業の規制緩和を契機に同業界の有力メーカー8社の合意の下、1985年に設立。

ライオン
ユニ・チャーム
資生堂
サンスター
ジョンソン
十條キンバリー
(現 日本製紙クレシア)
エステー化学
牛乳石鹼共進社

インテック

インテックに
ネットワーク運用と
監視業務を委託



参考資料②経営の基本方針

- **プラネット**は、流通機構全体の機能強化を図るため、流通業界を構成する各企業（製配販）が合理的に利用できる情報インフラストラクチャーの構築・運営を通じて業務効率化に貢献し、ひいては国民経済の発展に寄与します。
- **プラネット**は、情報インフラストラクチャー・サービスを提供するにあたり、流通業界を構成する各企業（製配販）の役割を尊重するとともに、公平に便益を享受できるよう配慮します。
- **プラネット**は、ユーザーに安心してご利用頂くために、
 - (1) 安全なサービス
 - (2) 中立的なサービス
 - (3) 標準化されたサービスを継続的に提供します。
- **プラネット**は、ユーザーに最適なサービスを提供するために、
 - (1) 最新情報技術の研究
 - (2) 情報・流通関連の標準の研究
 - (3) 流通業界の構造変化の研究について継続的に努力します。
- **プラネット**は、ユーザーの情報セキュリティ保全を図るために、
 - (1) 情報管理システムの構築
 - (2) 不正なアクセス、破壊工作からの防御
 - (3) 要員のセキュリティ意識の徹底について最大限の努力をします。

（企業理念より）



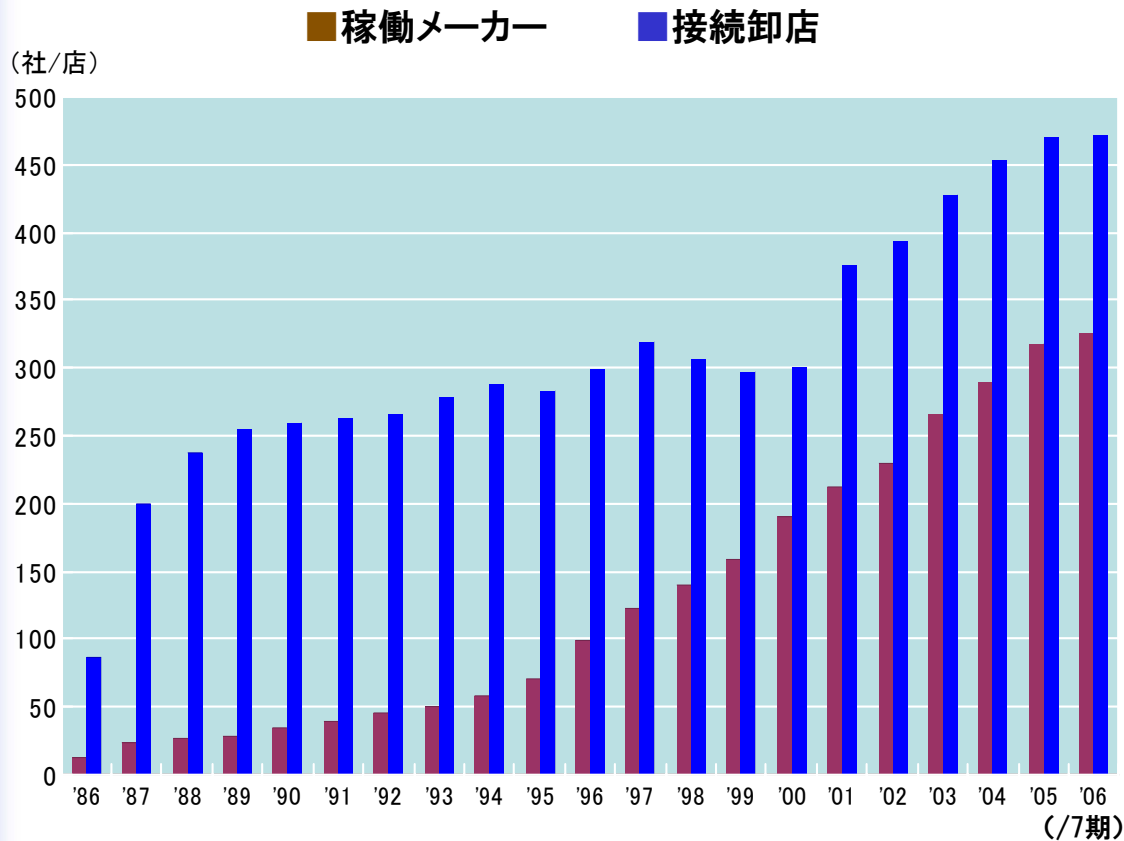
参考資料③プラネットの歩み

1985. 8	(株)プラネット発足 資本金:240百万円 出資会社(株)インテック、ライオン(株)、 ユニ・チャーム(株)、(株)資生堂、サンスター(株)、 ジョンソン(株)、十條キンバリー(株)(現 (株)日本製紙クレシア)、エステー化学(株)、 牛乳石鹼共進社(株)	10	CRP(連続自動補充プログラム)稼働開始
1986. 2	仕入データ、販売データ稼働開始	1999. 8	基幹EDIサービスダウンサイジング(TCP/IPに対応)
10	発注データ、請求照合データ稼働開始	2000. 1	プラネットマーケティングフェアを開催
1987.2	日経・年間優秀製品賞の「日経流通新聞賞」を受賞	2000. 4	ペット業界が商品データベース利用開始
6	日本マーケティング協会より 「流通情報システム優秀賞」を受賞	2001. 1	Web受発注サービス開始
1988. 9	FAX受発注システム稼働開始	8	Web資料EDIサービス開始
9	プラネットの機関誌「PLANET van van」第1号を発刊	12	シングルポータル「バイヤーズネット」サービス開始
1991. 1	在庫データ稼働開始	2002. 6	理美容業界がプラネットEDIサービス利用を発表
1992. 4	品切連絡データ稼働開始	2003. 10	ペット業界が業際統一伝票を導入
1994. 3	振替データ稼働開始	2004. 2	ジャスダック市場へ株式公開
1995. 2	「トータルEDI概要書」発行	9	「ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)適合性評価 制度」認証取得
2	《100%オンライン受発注構想》発表	2005. 4	棚割データベースサービスの稼働開始
10	全国家庭用品卸商業協同組合ネットワークを受託	7	EDIユーザーが1000社を突破
1996. 4	業際統一伝票導入(新伝送フォーマット切替開始)	8	インターネットEDIサービス「SMOOTHEDI」の稼働開始
7	次期ネットワーク《業界イントラネット構想》発表	10	帳票振分配信サービス
1997. 7	資材EDI稼働開始	12	商品データベースの項目追加
12	商品データベースサービス稼働開始	2006. 2	新料金適用
1998. 1	《業界サプライチェーン構想(VOES)》の発表	2	販促物管理サービス
1	「小売業・卸売業間EDI概要書(WES)初版」を全国化粧品 日用品卸連合会と協力して発行	3	商品マスタ登録申請サービス
2	取引先データベースサービス開始	4	販売レポートサービス

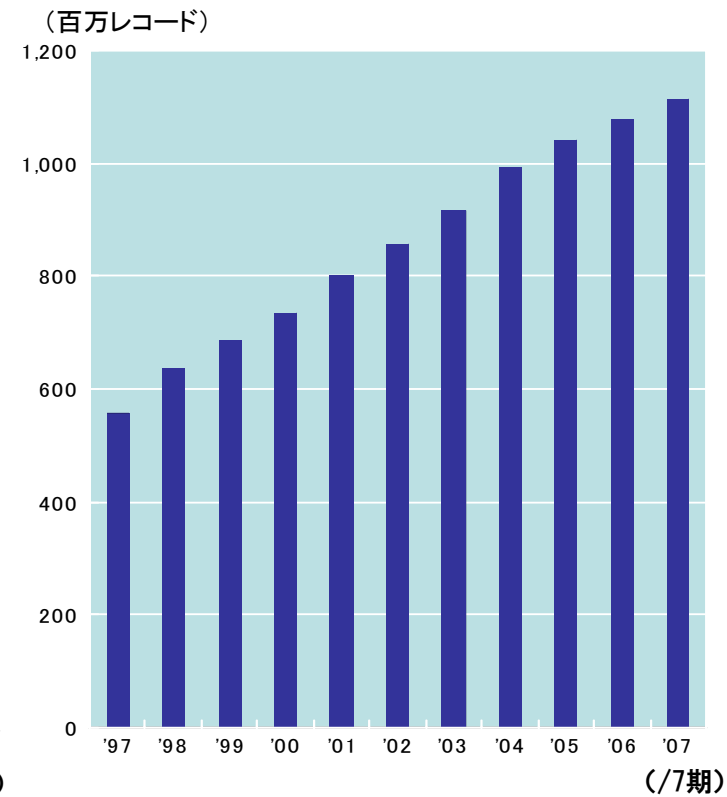


参考資料④基幹EDIサービスの進捗状況

稼働メーカー・接続卸店数の推移



通信処理データ量の推移





参考資料⑤主要取引先企業

メーカー

(社名は50音順)

化粧品・日用品

エステー化学(株)	大日本防虫菊(株)
(株)エフティ資生堂	ツムラライフサイエンス(株)
王子ネピア(株)	(株)白元
花王(株)	ホーユー(株)
カネホウホームプロダクツ販売(株)	プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン(株)
牛乳石鹸共進社(株)	(株)マンダム
(株)コーセー	森下仁丹(株)
小林製薬(株)	ユニ・チャーム(株)
サンスター(株)	ユニリーバ・ジャパン(株)
ジョンソン(株)	ライオン(株)
王子製紙(株)	など

大衆薬

アース製薬(株)	常盤薬品工業(株)
イチジク製薬(株)	久光製薬(株)
大塚製薬(株)	(株)メディケアシステムズ
共立薬品工業(株)	ユースキン製薬(株)
杏林製薬(株)	祐徳薬品工業(株)
小林製薬(株)	ライオン(株)
丹平製薬(株)	ロート製薬(株)
大幸製薬(株)	など

ベビー・衛生用品

ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	白十字(株)
テルモ(株)	ピジョン(株)
ニチバン(株)	和光堂(株)
	など

ペット

アイシア(株)	日本ヒルズ・コルゲート(株)
いなばペットフード(株)	日本ペットフード(株)
ジョンソントレーディング(株)	ネスレペリナペットケア(株)
テトラジャパン(株)	ペットライン(株)
ドギーマンハヤシ(株)	マスターフーズリミテッド
日清ペットフード(株)	ユニ・チャーム ペットケア(株)
	など

接続メーカー数:330社

卸売業

(社名は50音順)

化粧品・日用品

(株)麻友	(株)中央ホームズ
(株)あらた	(株)東京堂
イーライフ共和(株)	(株)東流社
伊東秀商事(株)	(株)トウディック
(株)井田両国堂	(株)ときわ商会
(株)エイコー	西日本共和(株)
岡山同国共和(株)	ハリマ共和物産(株)
花王販売(株)	(株)パルタック
(株)ジェムコ水戸	広島共和物産(株)
太陽商事(株)	森友通商(株)
中央物産(株)	など

大衆薬

(株)アステムヘルスケア	(株)トミタヘルスケア
(株)大木	(株)ほくやく
(株)コバシヨウ	(株)パルタック
シーエス薬品(株)	(株)琉薬
丹平中田(株)	など

ベビー・衛生用品

川本産業(株)	ピップフジモト(株)
ピップトウキョウ(株)	森川産業(株)
	など

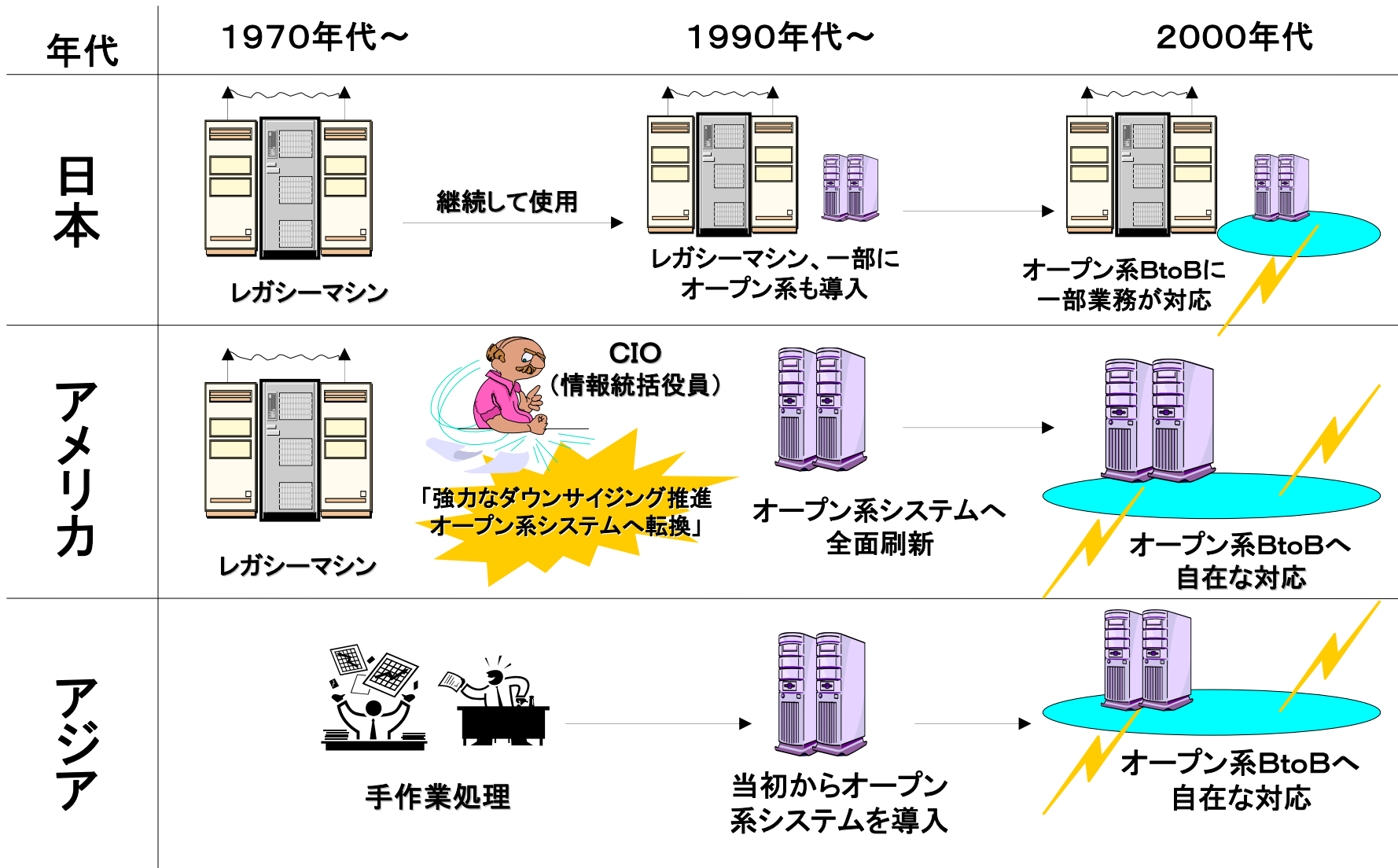
ペット

エコートレーディング(株)	薩摩ベネット(株)
(株)小野商事	(株)マーク産業
ジャベル(株)	(株)みさと産業
トーション(株)	(株)森光商店
中屋商事(株)	ラブリイ・ペット商事(株)
東日本ベネット(株)	(株)菱食
	など

接続卸売業者数:472社



参考資料⑥レガシー問題





参考資料⑦インターネットサイトのNIKKEINET

NIKKEINET (<http://www.nikkei.co.jp>) のなかの、IT業界に関する情報を掲載する「IT PLUS」(<http://it.nikkei.co.jp/>) で、書評記事を掲載するコーナーが新設され、弊社社長 玉生による寄稿連載が始まりましたので、報告させていただきます。(掲載頻度は月1回。書評する本のジャンルとしては、基本的にIT、経営、仕事上のテクニック、IT・経営に関するフィクションなど)

初回

<http://it.nikkei.co.jp/digital/news/index.aspx?n=MMIT1h000004012007>

2回目

<http://it.nikkei.co.jp/digital/news/index.aspx?ichiran=True&n=MMIT1h000026022007&Page=1>